

隊友会の目的

- ・国民と自衛隊とのかけ橋
- ・防衛意識の普及・高揚
- ・慰霊顕彰事業・地域社会の健全な発展に貢献
- ・退職者等の福祉の増進

県央ニュース

発行責任者

公益社団法人 隊友会
 神奈川県隊友会県央支部
 支部長 藤本 正則
 090-4521-9673
 fuji0362@jcom.zaq.ne.jp

新年のご挨拶

支部長 藤本 正則



令和5年の新春を迎え、会員の皆様には、善く新年を

迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

さて昨年はロシアによるウクライナ侵略と新型コロナウイルスの感染状況の報道が多くあった。また中国の習近平国家主席が長期政権を樹立するとともに、北朝鮮によるミサイル発射が取りざたされた。

ロシアによるウクライナ侵略はウクライナ国民と国土に多大な被害をもたらしています。西側諸国は国連安保理においてロシアを非難するが、拒否権を持つロシアと中国及びその二か国の影響を受ける国々が非難決議等に反対している。このような状況を打破するため、国連改革が急がれるところである。ロシアによるウクライナ侵略は、ロシア国民の意志というよりプーチン大統領の個人的信念に基づく行為である公算が大である。中国の習近平国家主席は長

期政権への足固めを着々と進め、政敵を排除し、自分の子飼いを政権内に配置し、益々独裁色を強めている。台湾開放を国家目標に掲げ、武力行使も排除しないという方針を出したことから、尖閣諸島への不法侵入・不法占拠も危惧されるところである。

北朝鮮の金正恩は益々その独裁ぶりを強固にしており、何を考えているのか不明のまま時が流れている。ロケットと核兵器の開発に十分な警戒が必要である。

国内では岸田内閣閣僚の交代が相次ぎ、政権基盤が弱くなっている。そのため、国会での質疑等は閣僚の不祥事を捜すことに多くの時間を割き、国の基本である防衛問題がおざりにされているのは残念でならない。更に新型コロナウイルス感染症への対処も後手後手回っているのも残念で

ならない。一方県央支部関連の行事としては、会員皆様の安心・安全を最優先として各種行事の中止に至らざるを得ませんでした。さて今年の県央支部は、昨年と同様に会員減少の歯止めと新規会員の獲得に重点を置いた活動を実施していき

い。そのためには隊友会の魅力化と会員相互の親睦を深め、「入会してよかった!」と思われる組織にする必要があります。支部役員は言うまでもなく、会員の皆様からのアイデアをお待ちしています。

謹賀新年

副支部長兼総務部長 中村 章

副支部長兼事業部長 浅野 雄三

副支部長兼経理部長 齊藤 力

副支部長兼防災部長 鈴木 剛

理事役 入江 哲二 恩蔵 豪臣

黒岩 春彦 齊藤 司

竹内 諄吉 二階堂 裕

平井 功 藤本慎二郎

山下 信好

監事役 按田 卓郎 福田 弘明

顧問 関 隆三

相談役 佐藤 誠 大島 孝二

着任・新年のご挨拶

海将 松本 完



新年明けましておめでとうございます。令和5年の新春を神奈川県隊友会県央支部の皆様と共に穏やかに迎えることができましたことを謹んでお慶び申し上げます。

私事ではありますが、昨年の8月に航空集団司令官を拝命し、横須賀地方総監部幕僚長(横須賀)から着任いたしました。厚木基地勤務は航空集団司令部幕僚長として令和元年12月まで勤務しており、慣れ親しんだ厚木航空基地における勤務は今回で5回目となります。

近年、我が国は戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しています。そして昨年12月16日には「国家安全保障戦略」など戦略3文書が閣議決定されました。この中において、ロシアによるウクライナ侵略のように国際秩序の根幹を揺るがす深刻な事態が将来、東アジアにおいて発生することは排除されないことから、このような安全保障環

境に対応すべく、防衛力を抜本的に強化することが示されました。

海上自衛隊航空集団としても目まぐるしく変わる安全保障環境にいついかなる時でも対処できるよう備えるとともに、海上防衛の第一線でその役割を果たせるよう、各種任務や訓練に邁進していきます。

今後、我が国の防衛、海上交通の安全確保、そして安定した安全保障環境の構築のため、航空集団一丸となつて日々の任務完遂に努めてまいりますので、変わらぬ皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



海将補 金山 哲治

新年のご挨拶

(海上自衛隊航空集団司令官)

新年明けましておめでとうございます。令和5年の幕開けを皆様とともに迎えることができ、心よりお慶び申し上げます。公益社団法人隊友会の皆様には、平素から海上自衛隊厚木航空基地、とりわけ第4航空群に格別のご支援、ご厚情を賜り厚く御

礼申し上げます。

一昨年の3月に第4航空群司令の職を拝命し、間もなく2年が経過しようとしております。昨年は、日米親善感謝デーを開催するなど、コロナ禍で取り止めていた行事等を再開させ、ウィズコロナに向けた新たな段階へ移行させました。引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、基地の運用や部隊の活動などにおいて感染拡大防止のための取組を実施してまいります。今後とも、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、私共海上自衛隊航空部隊が保有するP-1型哨戒機は、皆様もご承知のとおり、洋上における警戒監視、国内外における災害派遣や救難任務に従事し、大きな成果を挙げること、国民の皆様からも熱い応援を賜っているところであります。

他方、我が国を取り巻く安全保障環境は、既存の秩序をめぐる不確実性が増大、また、ロシアのウクライナ侵略にみられる、力による一方的な現状変更は国際秩序の根幹を揺るがすものであり、その情勢はさらに予断の許さない状況となっております。このような安全保障環境の中で、年間昼夜を通じて即応態勢を維持し、国民の皆様からのご期待にこたえるためには、近隣地域の皆様をはじめ多くの方々のご理解とご支援が不可欠であります。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ともに、神奈川県隊友会県央支部の益々のご発展と会員の皆様のご健康を祈念いたしまして新年の御挨拶とさせていただきます。

【プロフィール】

- 出身地・・・大阪府
- 職種・・・固定翼操縦士
- 趣味・・・ランニング
- 着任年月日・・・令和3年3月26日
- 第38代
- 前配置・・・海上幕僚監部厚生課長
- (海上自衛隊第4航空群司令)

着任・新年のご挨拶

1等海佐 井上 竜三



川県隊友会県中央支部の皆様には、令和5

年の新春を穏やかに迎えのことに謹んでお慶び申し上げます。また、日頃から厚木航空基地、併せて第51航空隊に対する格別のご高配、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年8月に第51航空隊司令を拝命し、下総教育航空群司令の職より着任しました。前回の厚木勤務から17年もの年月が経過しており、基地内にはターミナルビルが新たに建ち、東側に2つの巨大な格納庫が新

設され、駐機場には図面で見ると休めていました。月日の移ろいを感じつつ第51航空隊に着任した後、相変わらずXSH-60Lの技術・実用試験をはじめ様々な搭載装備品の研究・開発・試験を実施している隊員の姿、搭乗員及び整備員の訓練指導に真剣に取り組んでいる隊員の背中を目の当たりにし、海上航空部隊の魁としてその職務を済々と全うしている姿勢に、自身に課せられた重責を改めて肺腑に浸み込ませているところ です。

さて、我が国を取り巻く環境は、ロシアや中国のような力による現状変更を強いる存在など、その不確実性や情勢の緊張が急速に高まっております。海上自衛隊航空集団が限りある資源・人材の中、各種事態に対応して真に実力を発揮できる精強な部隊を練成していくことが急務となっております。そのような観点で、私ども第51航空隊が、現在の海上自衛隊搭乗員・整備員に果たす役割、そして将来の航空集団の部隊に負っている職責は極めて大きなものがあります。その認識を踏まえて、着任の際には、2つのことを隊員に要望しています。その一つは、航空集団の実力を左右する重要な任務を担う、他の誰もとって代わることのできない職務に就くことができる喜び、つまり第51航空隊の隊員であること

の「矜持を持つ」こと。そしてもう一つは、将来の航空集団の後輩たちが忸怩たる思いをすることがないように、それぞれの配置でその「職責を全う」することです。

第51航空隊の業務には、恐らくゴールとなるものはなく、次から次へと新たな課題が山のように積み重ねられていくことになると考えています。禅問答にあるように「百尺竿頭進一步」の精神で、一つの課題を解決してもなお、その先にあるより良い対応策を探求して、より高い次元で実力を極めるよう更に検討を進める勇気を持って業務に臨んでいきたいと考えています。第51航空隊の各隊の力を結集して、一丸となつて航空集団の精強性・即応性の為、そして将来の海上航空部隊の為に今与えられている「職責」にベストを尽くしていきたいと思っております。

第51航空隊の隊員は、その輝かしい歴史と伝統を継承し、「魁たれ」という共通の思いを持って職務に邁進しています。引き続き、隊友会、そして県中央支部の諸先輩方の変わらぬ温かいご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い致します。最後に、本年が、会員皆様とご家族の皆様方にとりましてご多幸、ご盛隆の年となりますことを祈念申し上げます。

(海上自衛隊第51航空隊司令)

新年のご挨拶

衆議院議員 甘利 明



新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。藤本正則支部長はじめ神奈川県隊友会県央支部の皆様には、日頃から格別なるご高配を賜わり心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルスとの共生を模索する中、少しずつではありますが、社会生活や経済活動の正常化がなされ始めた一年でありました。また、足元においては、ようやく国内メーカーによる新型コロナウイルスワクチンの経口摂取薬の製造・販売の承認がおりたことや、FIFAワールドカップにおいての日本代表の活躍等々、多くの明るい兆しも見えて来しました。

ウクライナ情勢等により、世界中でインフレ(物価の上昇)が進んでおり、食料品や原油価格等の上昇が進みました。日本においては欧米諸外国と比べますと影響は限定的とはいえ、政府は国民生活の基本となるエネルギー等への助成も行っており策の差異による大幅な円安の進行もインフレの一因となっております。

上げへの取り組み、原材料高を転嫁出来る元請け指導体制、②円安を活かした稼ぐ力の回復・強化、③新しい資本主義の加速、④防災・外交・安全保障の強化をメインとした総合

経済対策を定め、進めてまいります。ウイズコロナ政策としてコロナを抑えつつ経済を回して行く仕組みと国内産業が世界市場と繋がる土壌作り、また知的財産の源泉である大学やそのイノベーションの卵を産業化へと育てる仕組み、そして経済安全保障をしつかり担保する国内・外交政策の合せ技が重要と考えております。

これら政策を進められる前提となりますのは、我が国が安全・安心して世界の中で発展成長する国でいられることであり、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

台湾海峡有事は起こるか否かではなく、いつ起こるかの問題です。それによる海峡封鎖はデジタル社会の最重要物資の半導体、なにかんづくハイエンド半導体の7割が供給途絶となり得ます。『防衛費を令和9年度までにGDPの2%に充実する』国民の生命と財産を守るのが国家の至上の命題です。税制上のこの取りまとめに参画致しましたが、今後共に隊友会の皆様と思いをひとつに尽力致します。

家族・知人にとって実り多い1年となりますようお祈り申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。

(特別会員)
(自由民主党前幹事長)

「当事国」としての自覚を胸に

衆議院議員 義家 弘介



新年明けましておめでとうございます。隊友会の皆様方におかれましては、平素より我が国の安全保障の要である自衛隊の活動にご理解ご支援を賜っていることに心より感謝申し上げます。

昨年、2月24日、ロシアはウクライナに軍事侵攻しました。世界平和を実現・維持するために設置されている国連・安全保障理事会の常任理事国でもあるロシアによるまさかの暴挙に世界は咄然としました。激しい戦禍はこうしている今も続いています。この間、露・プーチン大統領は「核兵器の使用」についても公に複数回言及しました。世界は今、戦後最大の危機に直面しているといえます。

この戦争は日本にとって決して「対岸の火事」ではありません。ロシアにとって西の隣国ですが、

シアの東の隣国は日本です。また、2014年、ロシアはウクライナ・クリミア半島を強引に併合しましたが、日本も1945年以来、北方領土を不法占拠されています。「非核三原則」を持つ国ということも共通しています。そう、日本はこの戦争の「当事国」として危機意識を持つべき立場なのです。

ロシア軍から侵攻を受けているウ

クライナは、NATO加盟国を始めとする西側近隣諸国から全面的に軍事支援を受けて抗戦を続けています。翻って日本の近隣諸国はどうでしょう。日本の隣国・中国はロシア軍との合同軍事演習を行い、台湾併合への野心を隠そうともしなくなりました。中・露と結びつきの強い北朝鮮はロシアと連動するようにICBM弾を含むミサイルを日本海・太平洋に向けて連続して発射しております。また、ロシア軍は極東での動きも活発化させています。このような危機的状況下で日本は、米国との同盟とクアッド(日・米・豪・印)の枠組みを柱として対抗しておりますが、今、まさに「日本人の国防意識」が問われているともいえます。ウクライナ国民がそうであるように、「自分の国は、自分で守る」という前提がなければ、同盟は機能しないのです。

昨年暮れ、これまでの防衛3文書(国家安全保障戦略・防衛大綱・中

期防衛力整備計画)が、新たに「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」

「防衛力整備計画」にアップデートされ改訂がなされましたが、しかし、これはあくまでも国の防衛方針を示した「文書」に過ぎません。求められるのは「力による現状変更」を阻止できる「抑止力」を持つこと、そして何より、国民の「国防意識」の醸成なのです。

その意味では、隊友会の皆様方の本年の活動は日本の未来を左右する「試金石」となります。国政で議席を預かる者として、本年はより一層、皆様方、そして自衛隊・自衛官と連帯をはかりながら、国民の「国防意識」を醸成するために汗をかいてまいります。力を合わせて平和を守り抜きましょう。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

(特別会員)



年頭あひるつ

厚木市長 小林 常良



明けましておめでとうございます。どうぞございます。神奈川県隊友会 県央支部の皆様におかれましては、輝

かしい新年を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。国民と自衛隊との架け橋である貴会の皆様には、地域社会の健全な発展に向けて御尽力をいただいております。日頃から安心・安全なまちづくりに資する活動を展開していただいている自衛隊の皆様と合わせて、心から感謝を申し上げます。新型コロナウイルスの感染状況が一進一退を繰り返す中、感染防止対策を取りながらの活動には大きな御苦労があるかと存じます。こうした状況においても、様々な活動に取り組んでおられる会員の方々に、改めて敬意を表する次第です。

昨年2月、ロシアがウクライナへ軍事侵攻を開始したニュースが世界中を駆け巡りました。本市では、平和を脅かす行為に抗議を表明するた

め、①ウクライナの自国を守る行動への支持②ロシアの侵攻に対する非難③ロシア軍の即時撤退を求める声明を発しました。また、市民の皆様からお預かりした救援金を現地へ届

けるとともに、ウクライナ避難民の方を市内に受け入れていきます。今なお続いているウクライナ危機は、遠い外国の地で起きている「対岸の火事」で済ますことはできません。我が国においても、相次ぐ北朝鮮による弾道ミサイルの発射や中国の軍事力増加、東シナ海等での活動活発化など、安全保障問題が大きく横たわっています。厳しい状況が増すにつれ、自衛隊の任務や責任もこれまで以上に大きなものとなるのではないでしようか。

一方で、貴会の皆様には、国家の危機管理の中核を担う自衛隊の諸業務を陰日向と支えていただいております。皆様のこれまで積み重ねてこられた経験・知識は、何ものにも代え難い貴重な財産です。その財産をい

かしながら国民と自衛隊の架け橋として、相互の理解を深める役割を担っていただくことを期待しております。引き続き、防衛意識の普及高揚、防災施策の推進、地域社会の健全な発展にお力添えをお願いいたします。

結びに、神奈川県隊友会県央支部の益々の御発展と皆様の御健勝を、さらには自衛隊の皆様の方々の御活躍を心より祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

(特別会員)

年頭挨拶

綾瀬市長 古塩 政由



神奈川県隊友会
県央支部の皆様、
明けましておめ
どうございます。

皆様におかれましては、令和5年の
新春を健やかに迎えのことと、お
慶び申し上げます。

平素より綾瀬市政の推進に御理解
と御協力を賜り、心から厚くお礼申
し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新
型コロナウイルス感染症が収束する
兆しは見られず、また、大雨や台風
地震などの自然災害も、私たちの暮
らしに多大な影響を及ぼしておりま
す。

同感染症においては、ワクチン接
種も進み、社会経済活動も再開され
たものの、感染者数は周期的に増減
を繰り返しており、昨年末以降、イ
ンフルエンザとの同時流行による医
療ひっ迫への懸念も高まるなど、そ
の影響は依然として我々の生活に制
約や負担を強いております。

また、国内の自然災害については、
福島県と石川県で、震度6の地震が
観測されたほか、台風や線状降水帯
など記録的な大雨による自然災害が
全国的に生起し、人的被害のみなら

ず、住家や水道など生活インフラな
どに大きな被害が発生しました。

他方、世界に目を向けますと、昨
年の2月、突如として始まったロシ
アによるウクライナ侵攻をはじめ、

台湾周辺における中国軍の大規模軍
事演習、そして度重なる北朝鮮の弾
道ミサイル発射など、力を背景とし
た一方的な現状変更の試みや、周辺
国の軍事活動の拡大・活発化を目の
当たりにすることになりました。

こうした中、当市におきましては、
被害をもたらす災害などは、幸いに
して発生いたしませんでした。しか
しながら、自然災害、特に地震につ
きましては、いつ発生するか分かり
ません。また、国民保護法で想定さ
れる事態については、事前に予測で
きたとしても、十分な備えができな
い事態も考えられます。

いずれにせよ一度、大災害が発生
した場合には、市ができ得る対策に
は限界があり、災害派遣要請など自
衛隊や隊友会の皆様の御支援、御協
力が不可欠でございます。

自衛隊の皆様には、これまでも国
民の生命、財産を守り、自然災害や
世界情勢への対応など、御尽力いた
だいていただいております。また、隊
友会の皆様には、市民と自衛隊の架
け橋として、地域社会の発展に寄与
いただいております。

今後とも引き続き、御協力賜ります
ようお願い申し上げます。

神奈川県隊友会県央支部の益々の
御発展と皆様の御健勝と、自衛隊の
皆様の御活躍を心より祈念申し上げ、
新年のあいさつとさせていただきます
す。

(特別会員)

年頭挨拶

海老名市長 内野 優



新年明けまし
ておめでどうご
ざいます。

神奈川県隊友会県
央支部の皆様におかれましては、健
やかに新年をお迎えのことと心から
お慶び申し上げます。また、平素か
ら国民と自衛隊の架け橋として、今
日の日本の平和と安全にご尽力いた
だいておりますことに対し、深く敬意を
表します。

コロナ禍も丸3年が過ぎようとし
ておりますが、ワクチン接種の効果
などから、感染拡大はみられるもの
の、市民生活は落ち着きを取り戻し
つつあるように感じております。お
陰様で、昨年11月には、3年ぶり
の市民まつりを市制施行50周年記
念プラス1事業として盛大に開催す
ることができました。

令和4年を振り返ってみますと、
2月に始まったロシアによるウクラ
イナ侵攻、北朝鮮による度重なるミ
サイル発射、中国による台湾への軍
事的威嚇や尖閣周辺領海侵入など、
国際社会における緊迫状態を改めて
肌で感じる年となりました。自国の
意思にかかわらず相手国の意思で戦
争が始まってしまふこと、自分の国
は自分で守るといふ強固な意志と能
力を持つていなければ国を守れない
こと、また国際社会も支援してくれ
ないということを明確に示している
と思います。

一方、面白い話題として、サッカー
ワールドカップでの日本代表の活躍、
野球ではメジャーリーグのエンゼル
スに所属する大谷選手の二刀流とし
ての活躍や、ヤクルトスワローズ・
村上選手の最年少での三冠王獲得な
ど、国民に元氣と勇氣を与えてくれ
るできごとも多くありました。彼ら
は華やかな舞台の陰で想像を絶する
地道な努力を重ねており、その成果
の頭れであると思えます。

コロナ禍の3年間、海老名市では
幸運なことに大きな災害の発生はあ
りませんでした。市としては、今
後も常に最悪の事態を想定して対策
に取り組み、約13万9千人の市民
が一丸となって、安全安心なまちづ
くりを進めてまいりたいと考えてお
ります。県央支部の皆様には、引き
続きのご支援ご協力をお願い申し上
げますとともに、皆様にとつて本年
もすばらしい年でありますようご祈

念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

(特別会員)

新年のご挨拶

3 等海佐 石井 克典

新年明けましておめでとうござい
ます。

隊友会の皆様におかれましては、
平素から自衛官の募集広報に多大な
ご支援を頂き心よりお礼申し上げ
ます。

さて、コロナ禍での募集環境も3
年近くが経過いたしました。ようや
く地域の祭りやイベントが再開され
つつあり、広く一般の方々に対面
自衛隊の魅力をお伝えできる機会も
増えてまいりました。中でも小中学
校の総合学習の時間として、第4施
設群や第4航空群における装備等の
見学と、災害時の活動を体験しても
らう取り組みが広がりを見せており
我々としても大変嬉しく感じている
次第です。

報道では、防衛力強化に関する話
題が連日取り上げられております。
根幹となる隊員の確保は必至であり
募集を担う責任の高まりに我々所員
は一層身が引き締まる思いです。し
かし思いとは裏腹に、間もなく卒業
を迎える高校生の進路は、就職より
も大学や専門学校へ進学する割合が

例年に比べ多く見られます。これも
学校生活の大半をコロナ禍で過ごし
た影響なのかもしれません。さらに
は一般企業の採用条件が向上傾向に
あり、自衛官の募集環境としては、
より一層厳しさを増しております。

令和5年を迎え、未だ新型コロナウイルス
イルス感染拡大の終息には見通しが
つきません。厚木募集案内所では、
引き続き感染防止策を講じつつ、国
の防衛を担う隊員の募集に鋭意取り
組んでまいります。本年も皆様方の
変わらぬご理解ご協力を賜りますよ
うお願い申し上げますとともに、神
奈川県隊友会県央支部の益々のご発
展と、会員の皆様のご健勝を祈念し、
新年のご挨拶とさせていただきます。

(神奈川地方協力本部)
(厚木募集案内所所長)



令和5年度 総会について

令和4年12月中旬現在、新型コ
ロナウイルスの感染状況は増加傾向
にあります。新年度開催予定の令
和5年度総会の準備に着手する時期
になりました。年明け以降の感染状
況がどうなるかは予想が付きませ
んが、令和5年度は総会だけでも実施
したいと考えております。

令和5年度県央支部総会の開催を
どうするかについては昨年同様、実
施の場合は別途案内をお送りいたし
ます。会場は海老名名駅から徒歩約2
0分の海老名市公共施設ビナレッジ
会議室を、内容は総会のみを予定し
ております。実施出来ない場合は、
規則に従って支部理事役会にて議案
の審議を行い、結果については令和
5年4月1日又は同年7月1日発行
の県央ニュースにて会員皆様にご報
告いたします。

以上、ご理解のほどよろしくお願
いいたします。また、会員の皆様に
於かれましては新型コロナウイルス
感染症に罹らぬように充分ご留意く
ださい。

(支部長記)

祝 綬章

令和4年秋の叙勲において、
次の方が受章されました。
おめでとうございます。

- ◇ 瑞宝双光章
・ 小原 徹(海・大和市)

入退会者

(敬称略)

※ 会員区分:年(年会員)・終(終身会員)・特(特別会員)

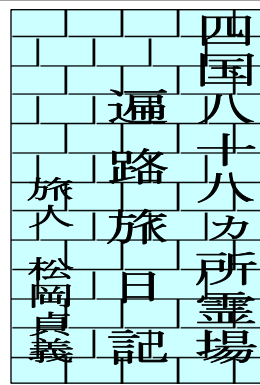
R4.4.1 ~ 10.25現在

1 入会(転入)

番号	氏名	住所	出身区分	入会年月日	会員区分	備考
1	奥嶋 純弥	伊勢原市石田	陸	R4.4.21	年	
2	大塚 潤	海老名市中新田	海	R4.5.9	年	15年前納
3	阿藤 裕之	横浜市緑区台村町	陸	R4.6.25	年	
4	菊地 隆矢	厚木市温水西	陸	R4.7.20	年	
5	石塚 宏明	秦野市西田原	陸	R4.10.4	年	
6	齋藤 洋一	綾瀬市蓼川	海	R4.9.21	年	

2 退会(転出)

番号	氏名	住所	出身区分	退会年月日	会員区分	備考
1	土井 信彦	海老名市国分北	陸	R4.7.24	終	R4.7.24死去(83歳)
2	鈴木 實	町田市南つくし野	陸	R4.10.19	終	R4.10.19死去(93歳)
3	谷野 春雄	綾瀬市早川城山	海	R4.6.1	年	自己都合
4	栃原 憲章	海老名市柏ヶ谷	一	R4.6.30	特	自己都合



11月24日(土) 歩き遍路
5日目(累計41日目) 歩行
距離・24.6キロ

徳上皇が崩御された場所であることから、別名「天皇寺」とも呼ばれており、高照院は白峰宮の境内に所在している。この寺と81番札所白峰寺には崇徳上皇にまつわる遺跡が多い。

79番札所「高照院」



8時前に天皇寺を出て、次の80番札所国分寺は後回しにして、先に81番札所白峰寺に向かった。途中のコンビニで昼食用のおにぎりと暖かいコーヒーを購入して、店内のイトインコーナーで休憩した。

81番札所「白峰寺」



歩きを再開し、ダラダラ続く坂道を歩いた後、白峰寺への上りの遍路道に入ったが、坂道よりも階段の多い道を上った。途中の階段の片側には寄り進まれた崇徳上皇にまつわる和歌が刻まれた石碑と献燈が続いていた。10時半に崇徳天皇白峰御陵に参拝した後、白峰寺山門に着いた。今日は休日でもあり、境内は観光バ

82番札所「根香寺」



スや自家用車で訪れた多くの参拝者で賑わっていた。納経所で並んで記帳をしてもらった際、寺の関係者から投げられるように納経書が返されたのは、少々嫌な気分になった。他の寺では歩き遍路だと分かると「ご苦労様です」とか「気をつけて行ってください」などと声をかけてくれるのだが。四国四県では「四国遍路を世界遺産に」との運動が行われているが、寺関係者の参拝者への対応についても改善すべきところが多いと思う。

80番札所「国分寺」



り、落ち葉を踏みしめながら気持ち良く歩いた。約4.6キロの道のりを1時間半かけて根香寺に着いた。この寺も多くの参拝者でこった返していた。参拝後、お互いに改めて自己紹介をしたところ、彼は76歳になる東京の弁護士であった。再会を楽しみにして別れた。

分寺山門に着いた。彼女達はオーストラリアからの観光客で、ガイドブックを参考に各地の遍路道の歩きを楽しんでいるようである。山門前で別れたが、彼女達は寺の参拝はしなかった。自分は境内に入り、ゆっくり参拝して、4時前に今夜の宿である高松市国分寺町の「せと国民旅館」に投宿した。思えば、今日は色々な人との一期一会の出会いがあった一日でもあった。

80番札所「国分寺」山門前



(以下次号)

に見送られて3キロ先の79番札所「高照院」に向かった。しばらく坂出市内のアーケード通りの遍路道を歩いた後に市内を抜け、昔の遍路道に入る頃の気温は3度、吐く息が白い。約45分で高照院に着いたが、山門が見当たらず、白峰宮の赤い鳥居から境内に入った。この寺は、保元の乱によって讃岐に配流された崇

休日でもあり、境内は観光バ

いた落ち葉が降り積もって

がら歩き、約2時間かけて

厚木募集案内所からのお知らせ

2023新年号

※ 1月1日現在、次の募集を行っております。対象者情報の提供にご協力よろしくおねがいます。

募集種目	資格		受付期間	試験期日
自衛官候補生	18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)		年間を通じて	受付時又は自衛隊神奈川地方協力本部のホームページにてお知らせします。
一般曹候補生	18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)		3月1日～5月9日	1次：5月19日～28日 2次：6月17日～7月2日 ※いずれか1日を指定されます。
幹部候補生	一般	大卒程度 22歳以上26歳未満の者 (20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、修士課程修了者等(見込含)は28歳未満の者)	① 3月1日～4月14日 (音楽要員を除く。)	① 1次：4月22日・23日 (4月23日は海・空飛行要員のみ) 2次：5月26日～6月1日 3次：(海・空飛行要員のみ) (海)：6月22日～26日 (空)：7月15日～8月3日 ② 1次：6月24日 2次：8月1日～7日
		院卒者 20歳以上28歳未満の者 修士課程修了者等(見込含)		
	歯科・薬剤科 専門の大卒(見込含)20歳以上30歳未満の者 (薬剤科は20歳以上28歳未満の者)	② 3月1日～6月15日 (飛行要員除く。)		
医科・歯科幹部	医師・歯科医師の免許取得者		2月1日～6月8日	6月23日
陸上自衛隊 高等工科学校生徒	一般	男子で中卒(見込含)17歳未満の者	(受付中)～1月6日	1次：1月20日 最終：2月9日
予備自衛官補	一般	18歳以上34歳未満の者	1月10日～4月6日	5月31日
	技能	18歳以上で国家免許資格等を有する者 (資格により年齢上限は53歳未満～55歳未満)		

厚木募集案内所（厚木市中町 2-6-24 ほてい屋第2ビル3階：046-400-2486）

編集後記

△ 昨年11月8日、「太陽・地球・月・天王星が一直線！」になる皆既月食と天王星食の同時出現が442年ぶりに出現した天体ショーを見た。次回は332年後という。宇宙の壮大なロマンを感じたのは編集子だけであろうか。

△ サッカーの侍ジャパンがワールドカップで世界ランキング第11のドイツに2対1で初戦を飾ったが、第2戦のコスタリカ戦では0対1で敗れた。

△ 11月下旬、3年振りの関東地区在住の高校同級会に参加した。近況報告では多くの者が病气や身内の不幸の話に終始したが、中には「人生百年時代。生涯現役の心意気で、健康に留意しながら楽しく生きよう！」と話していた。「来年は喜寿の祝いだ。元気で再会しよう！」と別れた。

(編集子)